



少量の血液で39項目を一気に調べることが
できる**アレルギー検査**があります
アレルギー症状でお悩みの方は
院長までご相談ください

発行元

西村クリニック
四條畷市楠公 1-14-6
072-862-3001

今の将棋界は藤井聡太さんの出現で大いに盛り上がっておりますが、藤井さんを始め大部分の棋士はAIを活用した研究を重ね、以前では全く考えられなかった様な戦型で戦われる将棋も増えております。AIが進歩し、人間がコンピューターに勝てなくなって日本の古來からの伝統ゲームである将棋は衰退するかも思われましたが、そんな事は無くAIと人間がうまく共存してそのバランスの上で様々な将棋の楽しみ方が最近見られる様になってきたと思います。

いわゆる「見る将」と表現されていますが、将棋を指すのではなく、見るのが趣味という人が増えている様です。これまではトッププロ同士の対局はある程度の棋力が無いと解説者がいってもなかなか理解できない面もあったのですが、今は将棋が初心者の方でもAIのおかげでトッププロの将棋を楽しく見れる様になってきました。最近のトッププロ同士の将棋中継ではAIが六〇%対四〇%などと%で示してくれどちらが有利なのか手が取る様に分かります。そして次の指す手を%付きで何通りか候補に上げ、対局者がその手を指すか期待して見たり、有力な手を指さず評価の低い手を指すと六〇%対四〇%で有利だったのが三〇%対七〇%と不利になったり、もつとすごいのは九〇%対一〇%がたった一手で一瞬にして一〇%対九〇%となるといったスリリングな終盤戦を楽しむ事も出来ます。



そして最近将棋の楽しみ方に加わったのがプロ棋士が対局中に摂った食事、いわゆる「勝負めし」が話題となり、それを食べる方も増えて対局場のご当地グルメの宣伝に一役買っている様であります。先日藤井さんと羽生さんの王将戦が島根県でありました。島根県には以前より「ハーブソーダ」という飲み物がありました。羽生さんの「ハブ」と藤井聡太さんの「ソーダ」をかけてこの「ハーブソーダ」がヒットしすぐ売れたとの事でありました。

この様にAIの出現で多くの「見る将」が増え、更には「勝負めし」などご当地グルメが大人気となって売れるというのは誠に喜ばしい事だと思います。

さて今年の将棋名人戦。現在二十歳の藤井六冠が七冠を目指して渡辺名人に挑戦中であり、五十年前私が高校生の頃、棋界の太陽と呼ばれた二十四歳の中原さんが大山名人を下して名人となって以来、この名人戦は私に常に注目してまいりました。この江戸時代より脈々と続く名人位に今年就くのは藤井さんか渡辺さんか、私も「見る将」の一人として大いに楽しんで見守っている所があります。

院長 西村 章

みなさんは肝斑をご存じですか？左右対称に目の下や頬骨に現れ輪郭は曖昧で薄く茶色が特徴のシミのようなものでシミと肝斑が混ざっている場合もあります。肝斑は炎症であり内服と外用で治療を行うのが一般的で摩擦することやホルモンバランスの乱れやストレスから悪化することも言われ女性に症状がでます。洗顔や日頃のお手入れもソフトに行うことが大切となります。また紫外線対策も怠らないようにします。私も薄く目立たなくなっていた肝斑が急に悪化し治療を開始しました(#^.^#)

昨年政府から緊急承認を受けた新型コロナウイルス治療薬のラゲブリオ、ゾコーバの2つの新薬を、ご希望される方は当院でも処方させていただきます。基礎疾患のある方や高齢者にはラゲブリオ、それ以外の方にはゾコーバの処方をさせていただきます。処方には当面の間ご本人の同意書も必要となりますことも重ねてお伝えさせていただきます。

先日院長と職員で避難訓練を行いました。避難の際の物品を確認し緊急時を想定した訓練を行い避難経路を避難場まで実際に歩いてみて確認しました。緊急時には患者さんも一緒に避難を行いますので患者さんの不安が少しでもないように日頃から全職員で訓練を行ってまいります。備蓄についても在庫の確認に努めます。

編集後記

親の私も目標を達成し一安心なはずが
まさしくポッカール穴が開きました
この穴を埋めるものを模索中です(-_-)☆